

令和6年度（2024年度）八代高等学校シラバス

教科	保健体育	科目	保健
学年・類型	2年・全	単位数	1
教科書	現代高等保健体育		
副教材	現代高等保健体育ノート		
科目目標	<p>個人及び集団の生活における健康安全管理についての理解を深め、健康に関する問題を自主的に解決する能力や態度を高めて、心身の調和的な発達を図る。</p> <p>生涯を通じて健康課題に応じた自己の健康管理や環境づくりに寄与し、健康的な社会環境づくりを実践できる資質や能力を育成する。</p>		
学習方法	<p>教科書や副教材を活用し、知識をしっかりと身につける。さらにグループ学習や発表を通して意見交換を行い、思考力・判断力・表現力を身につけ知識を深める。自ら調べ学習に取り組み、知識の深化を行う。</p>		

評価の観点		
知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<ul style="list-style-type: none"> 現代社会と健康、安全な社会生活とその活用について、個人だけでなく社会生活について総合的に理解をしている。 現代社会と健康、安全な社会生活について、健康を保持増進する技能を身につけ、実践することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 健康に関わる事象や健康情報などから自他や社会の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し、判断することができます。 健康の保持増進について、その時々の目的や状況に応じて他人に伝える力を身につけていく。 	<ul style="list-style-type: none"> 生涯を通じて自他の健康の保持増進やそれを支える環境づくりを目指し、明るく豊かで活力のある生活を実践しようとしている。

評価方法		
知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
①定期考查（知識技能の問題）	①定期考查（思考判断表現の問題） ②課題プリントの取り組み状況	①ノートや課題プリントへの取り組み、提出状況 ②授業への取り組み状況

各学期及び学年の成績算出方法について	
観点別評価	
知識・技能	40%
思考・判断・表現	30%
主体的に学習に取り組む態度	30%

学 期	学習内容	評価規準（到達目標B規準）と到達度チェック（自己評価）			評価方法
		知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	
1 学 期	(1) 事故の現状と発生要因	<input type="checkbox"/> 事故の発生には、人的要因や環境要因などが関連していることについて、理解している。	<input type="checkbox"/> 様々な事故や災害の事例から、安全に関する情報を整理し、環境の整備に応用している。	<input type="checkbox"/> 安全な社会づくりについて、課題の解決に向けた学習に主体的に取り組もうとしている。	知① 知② 思① 思② 思③ 主① 主②
	(2) 安全な社会の形成	<input type="checkbox"/> 環境の整備や個人の取組、及び地域の連携などが必要であることについて、理解している。	<input type="checkbox"/> 事故につながる危険を予測し回避するための自他や社会の取組を評価している。		
	(3) 交通における安全	<input type="checkbox"/> 自分自身の心身の状態や車両の特性などを把握すること、及び個人の適切な行動、交通環境の整備が必要であることについて、理解している。	<input type="checkbox"/> 自他や社会の課題の解決方法と、それを選択した理由などを話し合ったり、ノートなどに記述したりして、筋道を立てて説明している。		
	(4) 応急手当の意義とその基本	<input type="checkbox"/> 適切な応急手当の手順や方法を身に付けるとともに、社会の救急体制の整備を進めることについて、理解している。	<input type="checkbox"/> 応急手当について、習得した知識や技能を事故や災害で生じる傷害や疾病に関連付けて、悪化防止のための適切な方法に応用している。		
	(5) 日常的な応急手当	<input type="checkbox"/> 基本的な応急手当ができる。	<input type="checkbox"/> 応急手当について、自他や社会の課題の解決方法と、それを選択した理由などを話し合ったり、ノートなどに記述したりして、筋道を立てて説明している。		
	(6) 心肺蘇生法	<input type="checkbox"/> 人工呼吸、胸骨圧迫、AED の使用などが必要であること、及び方法や手順について理解したことを言ったり書いたりし、AED などを用いて心肺蘇生法ができる。			
2 学 期	(1) ライフステージと健康	<input type="checkbox"/> 思春期における身体面、心理面、行動面などの変化に関わり、健康課題が生じることがあることについて、理解している。	<input type="checkbox"/> 生涯の各段階における健康について、個人及び社会生活と関連付けたりして、自他や社会の課題を発見している。	<input type="checkbox"/> 生涯の各段階における健康について、課題の解決に向けた学習に主体的に取り組もうとしている。	知① 知② 思① 思② 思③ 主① 主②
	(2) 思春期と健康	<input type="checkbox"/> 自分の行動への責任感や異性を理解したり尊重したりする態度が必要であることについて、理解したことを言ったり書いたりしている。	<input type="checkbox"/> 思春期と健康について、心身の発達や性的成熟に伴う健康課題を解決するために、性に関わる情報を適切に整理している。		
	(3) 性意識と性行動の選択	<input type="checkbox"/> 結婚生活について、心身の発達や健康の保持増進の観点から理解したことを言ったり書いたりしている。	<input type="checkbox"/> 結婚生活と健康について、習得した知識を基に、結婚生活に伴う健康課題の解決や生活の質の向上に向けて、保健・医療サービスの活用方法を整理している。		
	(4) 妊娠・出産と健康	<input type="checkbox"/> 受精、妊娠、出産とそれに伴う健康課題について、理解したことを言ったり書いたりしている。			
	(5) 避妊法と人工妊娠中絶				

2 学 期	(6) 結婚生活と健康	<input type="checkbox"/> 家族計画の意義や人工妊娠中絶の心身への影響などについて、理解している。		
	(7) 中高年期と健康	<input type="checkbox"/> 加齢に伴い、疾病や事故のリスクが高まること、健康の回復が長期化する傾向にあることについて、理解している。保健・医療・福祉の連携と総合的な対策が必要であることをについて、理解したことを言ったり書いたりしている。	<input type="checkbox"/> 中高年期の疾病や事故のリスク軽減のための個人の取組と社会的対策を評価している。 <input type="checkbox"/> 生涯の各段階における健康について、自他や社会の課題の解決方法について話し合ったり、ノートなどに記述したりして、筋道を立てて説明している。	
	(8) 働くことと健康	<input type="checkbox"/> 労働災害を防止するには、作業形態や作業環境の改善、健康管理と安全管理が必要であることについて、理解したことを言ったり書いたりしている。	<input type="checkbox"/> 健康に関する原則や概念を基に整理したり、個人及び社会生活と関連付けたりして、自他や社会の課題を発見している。	<input type="checkbox"/> 労働と健康について、課題の解決に向けた学習に主体的に取り組もうとしている。
	(9) 労働災害と健康	<input type="checkbox"/> 職場の健康管理や安全管理とともに、積極的に余暇を活用することが重要であることについて、理解したことを言ったり書いたりしている。	<input type="checkbox"/> 労働と健康について、自他や社会の課題の解決方法と、それを選択した理由などを話し合ったり、ノートなどに記述したりして、筋道を立てて説明している。	
	(10) 健康的な職業生			
3 学 期	(1) 大気汚染と健康	<input type="checkbox"/> 大気汚染、水質汚濁、土壌汚染などの自然環境汚染は、健康に影響を及ぼしたり被害をもたらしたりすることについて、理解している。	<input type="checkbox"/> 自然環境汚染について、事例を通して整理し、疾病等のリスクを軽減するために、環境汚染の防止や改善の方策に応用している。	環境と健康について、課題の解決に向けた学習に主体的に取り組もうとしている。
	(2) 水質汚濁、土壌汚染と健康	<input type="checkbox"/> 環境基本法などの法律や、環境基準などの総合的・計画的対策が講じられていることについて、理解したことを言ったり書いたりしている。	<input type="checkbox"/> 環境と健康について、話し合ったり、ノートなどに記述したりして、筋道を立てて説明している。	
	(3) 環境と健康にかかわる対策	<input type="checkbox"/> 上下水道の整備、環境衛生活動は、学校・地域などの社会生活における環境、及び人々の健康を守るために行われていることについて、理解したことを言ったり書いたりしている。	<input type="checkbox"/> ごみ処理の現状や課題について、話し合ったり、ノートなどに記述したりして、筋道を立てて説明している。	
	(4) ごみの処理と上下水道の整備			
	(5) 食品の安全性			

知①
知②
思①
思②
思③
主①
主②

(6) 食品衛生にかかる活動

- 食品の安全性について、理解したことと言ったり書いたりしている。
- 食品衛生法に基づいて食品衛生活動が行われていることや、食品の各段階での適切な管理が重要であることについて、理解したことを言ったり書いたりしている。

(7) 保健サービスとその活用

- 行政及びその他の機関などから保健・医療サービスなどが提供されていることについて、理解したことを言ったり書いたりしている。

(8) 医療サービスとその活用

- 検診などを通して自己の健康上の課題を的確に把握し、保健・医療サービスなどを適切に活用していくことなどが必要であることについて、理解したことを言ったり書いたりしている。

(9) 医薬品の制度とその活用

- 個々の医薬品の特性を理解した上で、正しく使うことが必要であることについて、理解したことを言ったり書いたりしている。

(10) さまざまな保健活動や社会的対策

- 我が国や世界では、健康を支えるために、健康課題に対応して各種の保健活動や社会的対策が行われていることについて、理解したことを言ったり書いたりしている。

(11) 健康に関する環境づくりと社会参加

- ヘルスプロモーションの考え方に基づいた、健康に関する環境づくりが重要であることについて、理解したことを言ったり書いたりしている。

- 一人一人が健康に関心をもち、健康を支える適切な環境づくりに積極的に参加していくことが必要であり、そのことが自分を含めた世界の人々の健康の保持増進につながることについて、理解したことを言ったり書いたりしている。

- 食品の安全性と食品衛生に関わる活動について、習得した知識を他の日常生活に適用して、健康被害の防止と健康を保持増進するための計画を立てている。

- 保健・医療制度及び地域の保健・医療機関について、健康に関わる原則や概念を基に整理したり、個人及び社会生活と関連付けたりして、自他や社会の課題を発見している。

- 医薬品の制度とその活用について、医薬品には承認制度があり、販売に規制が設けられていることと関連付けながら、生活の質の向上のために利用の仕方を整理している。

- 保健・医療制度及び地域の保健・医療機関について、自他や社会の課題の解決方法と、それを選択した理由などを話し合ったり、ノートなどに記述したりして、筋道を立てて説明している。

- 健康に関する環境づくりと社会参加について、健康に関わる原則や概念を基に整理したり、個人及び社会生活と関連付けたりして、自他や社会の課題を発見している。

- ヘルスプロモーションの考え方に基づいた、健康に関する環境づくりへ積極的に参加していくために、適切な情報を選択・収集して、分析・評価し計画を立てている。

□ 食品と健康について、課題の解決に向けた学習に主体的に取り組もうとしている。

□ 様々な保健活動や社会的対策について、課題の解決に向けた学習に主体的に取り組もうとしている。

□ 健康に関する環境づくりと社会参加について、課題の解決に向けた学習に主体的に取り組もうとしている。

